

# 地すべり事業(東星田地区)の効果について

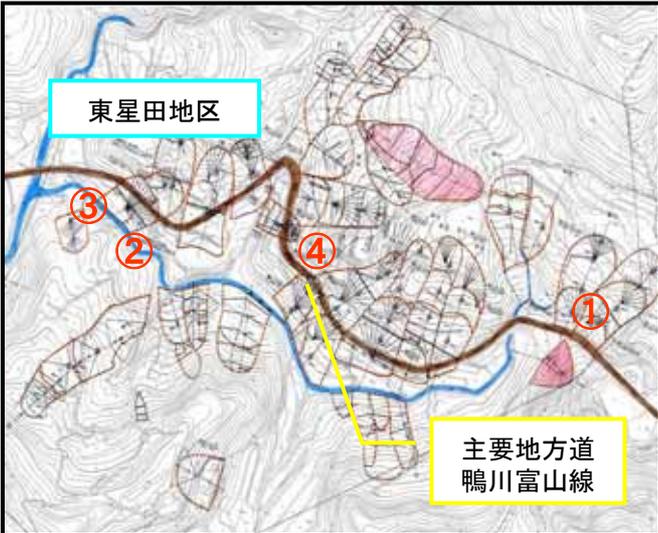
## 重要交通網及び物流・交流ネットワークの保全 (千葉県安房郡 富山町山田地先)



東星田地区(全体面積45.0ha)では、昭和55年に急激な崩壊性地すべりが発生し平久里川本流に流入した。昭和56年には別の地区で比較的活発な滑動により農道・田畑に多くの亀裂が発生した。これらを受けて、昭和55年度より地すべり防止対策工事を実施している。

主な保全対象は、地域内を東西に横断する鴨川富山線であり、本道は、千葉県の輸送の要となっている。

豊富な浅層地下水の排除を目的とする明暗渠工や横ボーリング工に加え、平久里川・東星田川の溪岸浸食防止を目的とした床固工や護岸工により、いずれの地区においても滑動は沈静化の方向に向かっている。今後は、県土の保全と民生の安定を図りつつ、地すべり対策事業の概成を目指す。



↑①県道沿いのブロック積工に発生した亀裂



→②県道沿いに連続的に発生した亀裂

地すべり対策工により地すべり地区を安定化し、  
主要地方道による安全で快適な輸送が実現！

③ 鋼管杭工による地すべり対策



④ 対策工施工後の県道  
変状は認められない

